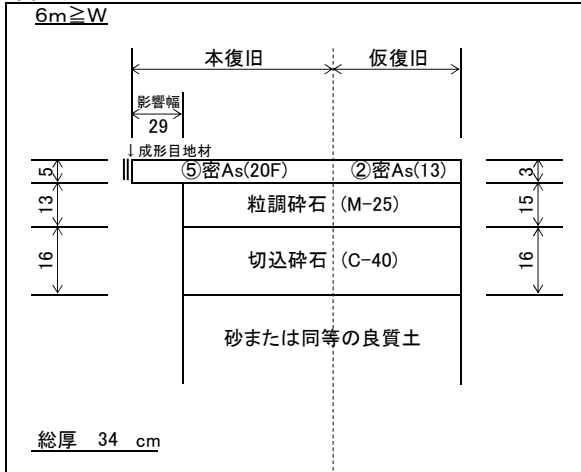


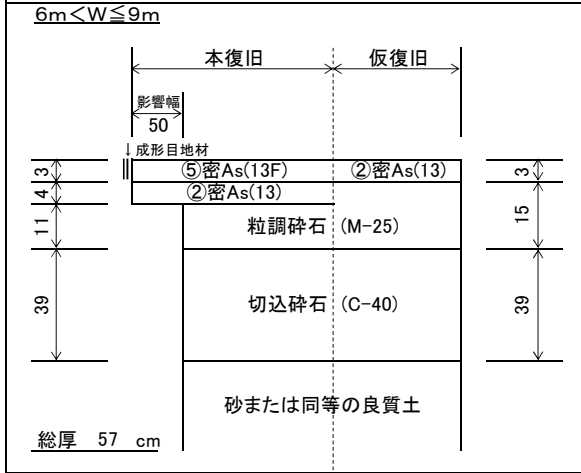
# 舗装復旧図(車道)

単位:cm

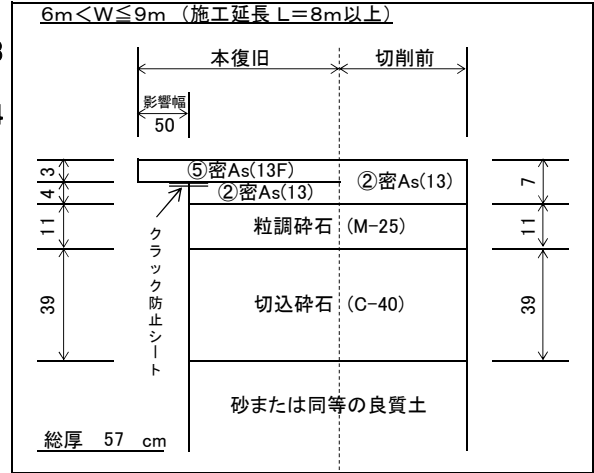
N1・N2タイプ



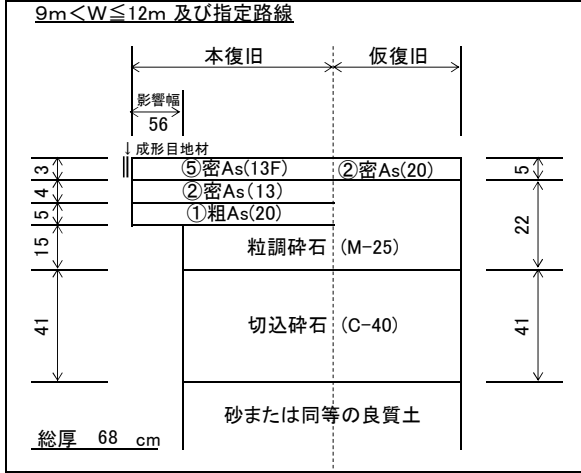
N3・N4打換えタイプ



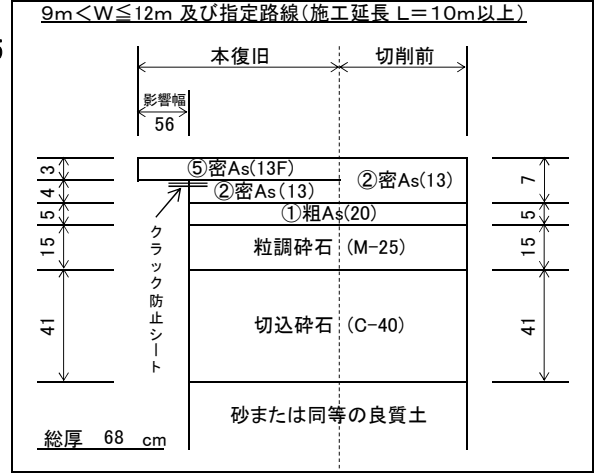
N3・N4切削タイプ



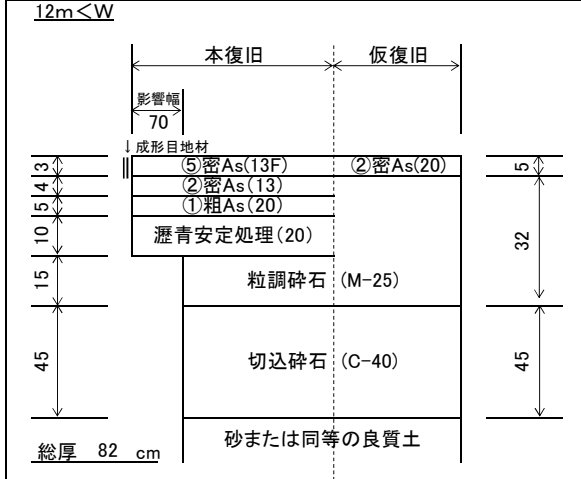
N5タイプ打換えタイプ



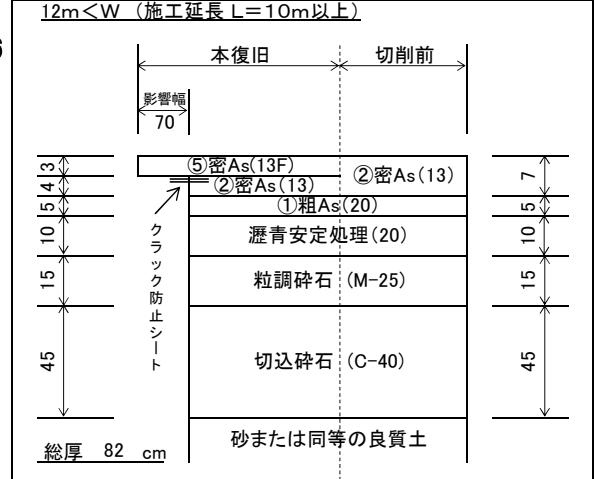
N5切削タイプ



N6タイプ打換えタイプ



N6切削タイプ



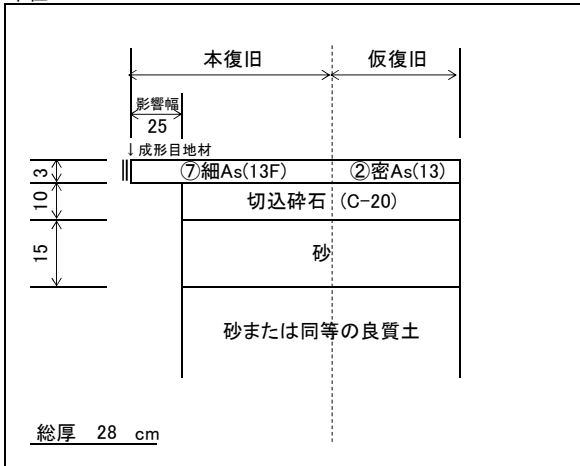
1. Wは、車道の幅員とする。  
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
2. 舗装に使用する材料は、再生材を可とする。
3. 影響幅は、記載されている数値以上とする。
4. 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
5. 舗装切断面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
6. 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
7. 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(テンサー)がある部分があるので注意すること。
8. 現状回復届の提出から2年以内に、工事箇所損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。

※切削オーバーレイは、アスファルトフィニッシャー及び搭乗式の締固め機械を使用すること

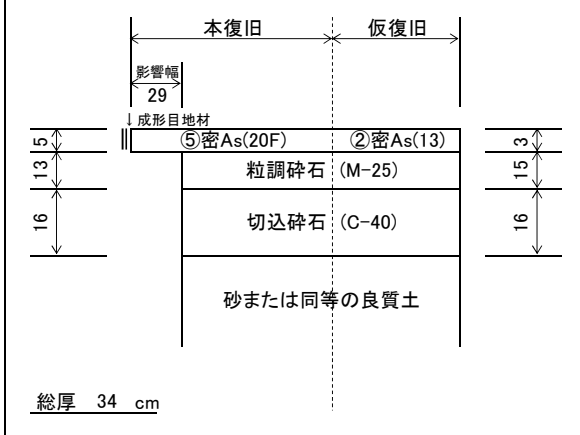
# 舗装復旧図(歩道等)

単位:cm

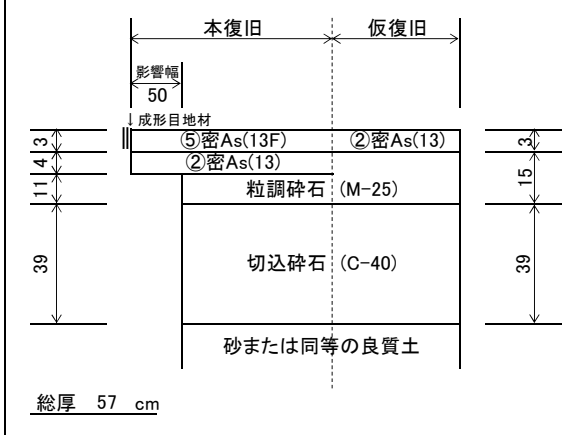
歩道タイプ



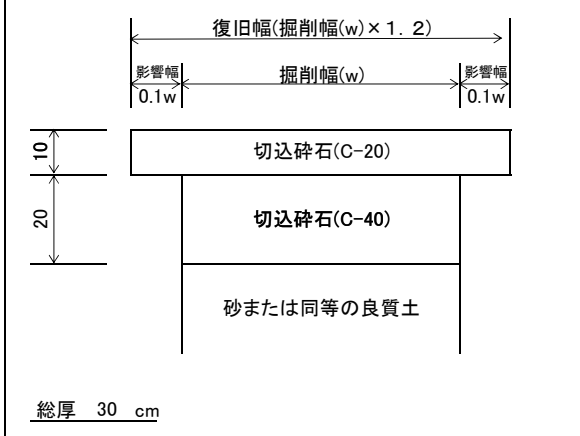
歩道乗入Aタイプ



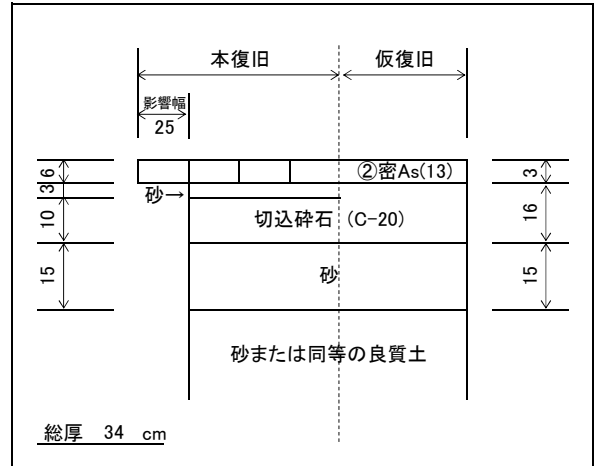
歩道乗入Bタイプ



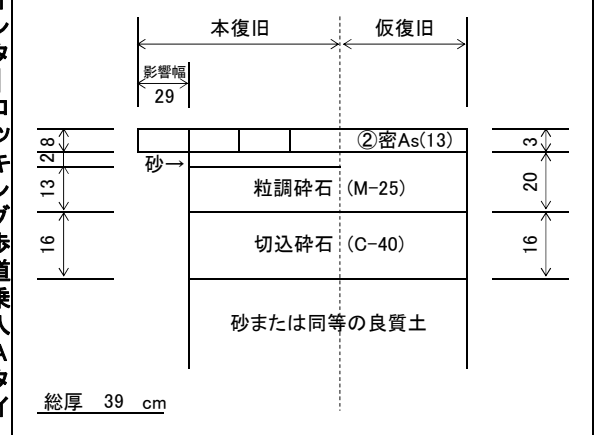
砂利タイプ



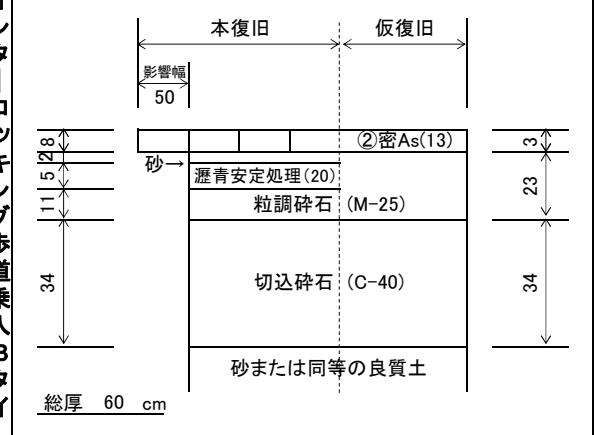
インターロッキング歩道タイプ



インターロッキング歩道乗入Aタイプ



インターロッキング歩道乗入Bタイプ



1. Wは、車道の幅員とする。  
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
2. 舗装に使用する材料は、再生材を可とする。
3. 影響幅は、記載されている数値以上とする。
4. 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
5. 舗装切断面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
6. 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
7. 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(テンサー)がある部分があるので注意すること。
8. 原状回復届の提出から2年以内に、工事箇所へ損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。